

現代 ささぶねより



新がたコロナウイルスから 学んだこと

長岡南小4年 鈴木悠真

令和二年一月から日本で新がたコロナウイルスがはやり始めました。初めは、え体の知れない新しいウイルスのせいでマスクや消臭スプレーが売り切れになりました。その時は、みんなこんなに長く続くと思っていなかったと思います。

三月になってとつ然、学校が休校になりました。休校になっても、どこにも遊びに行けなくなって、たいていつでした。その後、きん急事たいせん言が発令されて、スイミングやじゅくも休みになってしまいました。その時、ぼくは（本当に大変な事が起きているんだ。）と思いました。このような生活が続く中で、一番変わったことは、人と人の間かくを空けること、マスクを着用すること、手洗いをてつていすることです。中でも、ぼくが一番つらかったのは、学校行事がふ通にできないこ

とです。運動会や参観日も今までとやり方が変わってしまいました。給食の時も、今までは、みんなと楽しくおしゃべりしていたのに、今では、全員前を向いてだまって食べています。そんな毎日のもういやだというのがぼくの気持ちです。

だけど、ぼくはがまんします。毎日、感せんのリスクがありながら働いてくれる病院の人たちや、ぼくたちに勉強を教えてくれる先生方、色々な人たちに感しゃして毎日をすごします。なぜならば、それが今、ぼくにできることだからです。いつ終息するのか分からないし、いつ感せんするかも分からないからです。でも、いつかまた、楽しい日々が帰って来ると思います。だから、ぼくは今でできることをがんばっていきます。



令和3(2021)年
186号掲載

オリンピックを見に行つたよ

土肥小中一貫校2年 勝呂紘介

ぼくは、お母さんとお兄ちゃん、オリンピックの女子のマウンテンバイクを見に行きました。会場には、ほかの学校の人たちがそだてたアサガオのはちが、ならんでいました。（ぼくのアサガオも、パラリンピックの時に、こんなふうにかざられるんだ。）と思いました。

マウンテンバイクは、さか道や石でこぼこしているところを走ります。がけの上の道では、せん手がおちないか心ばいになりました。コロナで大声を出せないで、心の中で、（がんばれ。）と思いながら、手をたいておうえんしました。



家に帰ってから、見に行けなかったお父さんに、レースのようすを教えてあげました。お父さんは、「すごかっただね。見に行けてよかったね。」と言ってくれました。

現代の日本

令和3(2021)年

- ・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の範囲に2府6県を追加
- ・第1回大学入試共通テスト実施
- ・東京オリンピック・パラリンピックが近代オリンピック史上初めて1年延期の後、ほぼ無観客で開催（伊豆会場など一部を除く）

令和5(2023)年

- ・新型コロナウイルス感染症の法的位置付けを第5類に変更
- ・将棋の藤井聡太史上最年少七冠達成
- ・消費税の仕入れ控除の方式としてインボイス制度が開始



現代の物価

- ・バナナ 1kg 314円
- ・中華そば（外食） 681円
- ・新聞代 1カ月 3,732円
- ・映画鑑賞料（大人） 1,900円
- ・郵便料 封書 110円、はがき 85円
- ・1ドル/円 149.99円

ささぶねを読んでみよう

- 伊豆市
 - ・伊豆市立修善寺図書館
 - 伊豆の国市
 - ・伊豆の国市立中央図書館
 - 函南町
 - ・函南町立図書館（かなみ知恵の和館内）
- ※一部、図書館に所蔵されていない号もあります。

田方広報研究会とは…

- 伊豆市・伊豆の国市・函南町・JAふじ伊豆・伊豆保健医療センターの各広報担当者で構成される、広報紙の進展とその適切な調整を図ることを目的とした研究会です。

ぼうさいキャンプで 学んだこと

丹那小4年 川口大地

ぼくは、今年、五年生といっしょにぼうさいキャンプをやりました。今年から始まった新しい行事でした。この中でも、三つのことをしようかします。

一つ目は、ハザードマップを使って、自分の家の近くがあらぶないかなどを調べ、大きい地図にまとめたことです。この地図作りをしているときに、同じグループの人と「ここがあらぶないね」「この道がふさがれたらひなんできないね」と、話しながら進めました。地図を作ることで、自分の家の周りのあらぶないところを知り、どこにひなんすればいいかなどがわかりました。

二つ目は、ぼうさい調理でカレーを作ったことです。まず、お米は、高みつ度ポリぶくろに入れて、お湯の入ったなべに入れました。

やる前は、「ちゃんとしたごはんができない。」と思っていました。でも、やってみたらちゃんとしたごはんができて、「（できるんだー）と思いました。ポリぶくろで作ったカレーも、



令和5(2023)年
188号掲載



しっかり作
れていてお
いしかった
です。

三つ目は、
起しん車体
験です。起
しん車に乗
る前は、楽

しみにしてました。でも、乗ってみたら大きくゆれて、（南海トラフきよ大地しんはすこくあらぶないんだ。）と思いました。地しんは、いつ来るかわからないから、しっかりぞなえておきたいと思いました。

ぼうさいキャンプで、地しんのあらぶなさや、高みつ度ポリぶくろで料理ができることなどを知ることができてよかったです。このけい験を、本当にさい害が起きたときに、生かしたいと思いました。

